

「甲武信」の概要について

1. 名称: 甲武信生物圏保存地域 (甲武信ユネスコエコパーク)
(申請者: 甲武信ユネスコエコパーク登録推進協議会)

2. 構成地域¹:

埼玉県(秩父市、小鹿野町)

東京都(奥多摩町)

山梨県(甲府市、山梨市、大月市、北杜市、甲斐市、甲州市、小菅村、丹波山村)

長野県(川上村)

3. 特徴等:

○特徴

- ・甲武信ヶ岳、金峰山、雲取山等の日本百名山に挙げられる山々が連なる奥秩父主稜を中心に、これを源流とする荒川、多摩川、笛吹川(富士川)、千曲川(信濃川)流域にまたがる地域をエリアとしている。
- ・この地域は、山岳や森に加えて御岳昇仙峡等の渓谷が、四季折々に彩りを変える日本的で素朴な美しい自然に恵まれており、首都圏近郊にありながら、連続性があり、生物多様性に富む、貴重な生態系が広く保全されている。
- ・古来人々を楽しませてきた民俗芸能が保全・伝承され、山岳・神社信仰にまつわる多様な文化が、今もなお息づいている地域でもある。
- ・山肌を覆う深い森は、首都圏や周辺地域の水源域として古くから守られてきており、現在でも上流域と下流域の水の繋がりを意識して、森づくりや自然保護等に取り組む団体や事業者、地域住民も多い。
- ・国内最大の生産量を誇るモモやブドウなどの果樹や高原野菜における環境配慮型の農業や、FSC 森林管理認証による林業など、持続的な農林業も広く営まれている。

○面積

総面積 190,603ha

- ・核心地域 13,364ha
- ・緩衝地域 70,858ha
- ・移行地域 106,381ha

※ 核心地域と緩衝地域は、秩父多摩甲斐国立公園等に指定されており、適切な保護・保全が図られている。

※ 移行地域は、国立公園に隣接する山間地や山間盆地を主としている。第一次産業を中心とした土地利用がなされ、自然環境の保全と調和した持続可能な発展を念頭に置いた取り組みが推進されている。

¹ 候補地域に含まれる都道府県及び市町村